

## 平成22年度 事業報告

平成22年度は、日本丸メモリアルパークの次期指定管理の公募の年でありましたが、昨年12月、正式に横浜市から再度指定管理の指定を受けることができました。

平成22年度の帆船日本丸及び横浜みなと博物館の入館者数は、3月11日の震災による来館者の落ち込みがあり、最終目標数字には届きませんでした。しかし、帆船日本丸公開25周年記念式典の開催、学校利用促進の強化、土曜日のこども向けクイズラリー等の参加型事業の新設、Tシャツデザインの公募展の実施、海と山と丘の公園交流事業の開始等により、多くのお客様に帆船日本丸と横浜みなと博物館を親しんでもらい、震災前までは、横浜市との協約目標を達成する入館者で推移することができました。また、横浜みなと博物館においては、14年ぶりに14万人を突破することができました。

日本丸メモリアルパークの入場者につきましては、総帆展帆、吹奏楽演奏会、フリーマーケット、ロックヤードコンサート等により、90万人を突破することができ、みなとみらい地区の賑わい創出に大いに貢献いたしました。

なお、公益認定につきましては、神奈川県「公益認定等審議会」の認定を得て、平成23年6月1日付けをもって「公益財団法人帆船日本丸記念財団」としてスタートいたします。

### I 帆船日本丸事業

#### 1 帆船日本丸保存事業

横浜市港湾局と協議し、作成した「帆船日本丸整備計画」に基づき、引き続き整備工事を実施し、平水区域の練習帆船としての資格を維持し、保存に努め、帆船日本丸の保存・公開・青少年練成の三大事業を進めてきました。また、日常の保守整備には、休館日を重点整備に充て、帆走ぎ装、消防設備、排水設備を中心に、さらに居住区等の公開区域の保守整備に努めてきました。帆船日本丸を良好な状態で保存するために次の整備を実施しました。

##### (1) 日常保守点検整備

- ① 観覧者通路、公開区域の安全点検・整備
- ② 船内及び甲板の清掃、船内真鍮磨き
- ③ マスト、ヤードその他帆装ぎ装の点検整備
- ④ 木甲板補修
- ⑤ セイル作製
- ⑥ その他

##### (2) 年次船体整備

「船舶安全法」に基づく検査にあわせて次の工事を実施しました。

- ① 中間検査受検工事

#### 船体関係検査項目

船体外部、船体内部、錨及び錨鎖、舵及び操舵装置、航海用具、弁・管、消防設備、防火措置、救命設備、電気設備、排水設備、係船設備、居住・衛生設備、交通設備、脱出設備、防災マニュアル

#### 機関関係検査項目

消防ポンプ効力試験、機動通風機非常停止・作動試験、絶縁抵抗試験、非常用発電機起動試験、配電盤・受電盤の現状試験  
ビルジポンプ吸引試験

- ② メインマスト及びミズンマストのゲルンボード リムのハーフラウンド更新
- ③ フォクスルデッキ木甲板の右舷1 / 3を更新
- ④ 非常用発電機開放整備・点検
- ⑤ その他

#### (3) 災害防止

- ① 観覧者及び展帆・甲板ボランティアの安全確保
- ② 船内防災センターにおいて火災、浸水及び不法侵入者等に備えて24時間体制で集中監視を実施

#### (4) 甲板ボランティアの協力

日本丸の清掃・日常整備作業等に次のとおり協力をいただき、シップシェイプに努めてきました。

\* 日常保守点検整備へのボランティアの参加状況

- ・ ボランティア参加日数 205日
- ・ ボランティア参加延人数 1,358人

(セイル取外し、取付け延べ参加者216人含む)

#### (5) 維持保存の取組み

保守整備は、休館日を重点的に充て、帆走ぎ装、消防設備、排水設備を中心に、さらに公開区域の保守整備に努めています。

横浜市が開催した「帆船日本丸の保存活用検討委員会」の提言書が平成22年7月に出され、“可能な限り、現在の活用を続けながら、建造100年を目指す。”という方針が出されました。しかし、船体外板の肉厚が薄くなるなど、船体各所の老朽化が進み、100年を目指すためには、適切な修繕を実施する必要があります。そこで、平成25年度の定期検査の状況を踏まえ、100年まで維持するのに必要な整備工事箇所を選定などを進めていきます。

## 2 帆船日本丸公開事業

### (1) 公開日数・観覧者数

項目／年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度
公開日数(日)	291	289	238	288	286
観覧者数(人)	148,315	150,085	81,714	111,079	91,579

### (2) 総帆展帆実績

回数	実施日	ボランティア数(人)	回数	実施日	ボランティア数(人)
1	4月11日	94	7	8月8日	82
2	4月29日	101	8	9月5日	78
3	5月30日	98	9	9月26日	87
4	6月13日	82	10	10月10日	雨天のため中止
5	6月27日	84	11	10月24日	89
6	7月19日	101	12	11月7日	106
			計	11回	1,002

### (3) 満船飾実績

4月29日、5月3日、5月4日、5月5日、6月2日、7月19日、  
9月20日、9月23日、10月11日、11月3日、  
11月23日、12月23日、1月10日、1月27日 計14回  
※1月27日は予定になかったが、進水記念日を祝して実施した。  
※3月20日は東日本大震災を受けて実施を見送った。

### (4) 総帆展帆協力者の養成実績

養成訓練参加者数 16人(男性9人、女性7人)  
平成23年3月末現在 展帆ボランティア養成者総数 1,175人  
(男性 563人、女性 612人)  
平成23年3月末現在 登録ボランティア数 2,252人  
(男性 1,593人、女性 659人)

### (5) 帆船日本丸船内ガイドの実施

社団法人海洋会横浜支部及び社団法人全日本船舶職員協会横浜支部の協力を得て、帆船日本丸に乗船経験のある元船長・機関長を中心としたガイドボランティアによる船内案内を、震災後9日間を除く全公開日に実施しました。

## 3 青少年錬成事業

生きた帆船として保存している帆船日本丸を訓練の場として、青少年錬成のた

めの海洋教室を29回実施しました。参加者は1,358人。大震災の影響で、1泊コース、2回(183人)がキャンセルとなり、21年度比、43人減となりました。

(1) 海洋教室実績

コース別	開催日	参加団体名	参加人数
半日コース	4月24日	横浜港カッターレース実行委員会①	29
	4月24日	横浜港カッターレース実行委員会②	15
	7月25日	日本自動車連盟/JAF①	54
	7月31日	財団主催 親子海洋教室①	40
	8月20日	YMCA山手台学童クラブ	46
	8月21日	財団主催 親子海洋教室②	52
	8月28日	日本自動車連盟/JAF②	48
	8月29日	南区井土ヶ谷地区青少年指導協議会	25
	9月18日	財団主催 親子海洋教室③	5
10月 3日	財団主催 親子海洋教室④	14	
1日コース	5月13日	バーチップP-12スクール	9
	7月24日	ボーイスカウト町田第1団	14
	7月28日	財団主催 学年別海洋教室①	20
	7月29日	財団主催 学年別海洋教室②	22
	7月30日	財団主催 学年別海洋教室③	20
	8月10日	ランドマークタワーサマーキャンプ①	17
	8月17日	ランドマークタワーサマーキャンプ②	21
	9月19日	財団主催 小学校高学年海洋教室	16
1泊コース	3月27日	よこはまこどもマリンスクール	189
	4月14日 ～15日	横浜市工業会連合会	56
	6月 3日 ～ 4日	横浜市立丸山台小学校	99
	6月10日 ～11日	横浜市立深谷小学校	73
	6月19日 ～20日	よこはまこどもマリンスクール①	15
	7月 3日 ～ 4日	よこはまこどもマリンスクール②	99
7月10日 ～11日	よこはまこどもマリンスクール③	98	

1泊コース	9月 9日 ～10日	横浜国立大学附属鎌倉小学校①	87
	9月14日 ～15日	横浜国立大学附属鎌倉小学校②	44
	10月21日 ～22日	横浜市立森東小学校	68
	10月28日 ～29日	横浜市立新吉田第二小学校	63
合 計		29回	1,358人

#### 4 教育普及事業等

帆船日本丸を活用して、日本丸の魅力と帆船の文化を知ってもらうため次の事業を行いました。

##### (1) 総合学習の受入

5月21日	相模原市大沢中学校	職業インタビュー	6人
6月 8日	横浜市立戸部小学校	日本丸クラブ①	19人
7月 6日	横浜市立戸部小学校	日本丸クラブ②	18人
10月26日	横浜市立戸部小学校	日本丸クラブ③	18人
11月30日	横浜市立戸部小学校	日本丸クラブ④	19人
12月14日	横浜市立戸部小学校	日本丸クラブ⑤	19人
1月12日	横浜市立中山中学校	職業体験	4人
2月16日	横浜市立いずみ野中学校	職業体験	1人

##### (2) 日本丸甲板みがき体験等

9月 4日	よこはまこどもマリンスクール	甲板みがき①	184人
10月23日	よこはまこどもマリンスクール	甲板みがき②	152人
11月21日	よこはまこどもマリンスクール	甲板みがき③	185人
12月12日	よこはまこどもマリンスクール	甲板みがき④	187人
1月22日	よこはまこどもマリンスクール	甲板みがき⑤	171人
2月19日	よこはまこどもマリンスクール		187人

(3) 横浜港カッターレースに協力し、カッターの貸し出し等機材の提供のほか、参加者の安全確保、レース技術の向上及び競技の進行を補助する目的で職員を派遣しました。

## II 横浜みなと博物館事業

平成22年度は、帆船日本丸進水80周年と公開25周年記念して春に「帆船日本丸と世界の港展」を、秋には企画展「歌、映画、小説の中の横浜港」を開催しました。

入館者向け事業では、21年度後半にスタートした展示案内ボランティアの活動が本格化しました。引き続き第2期生を募集し、10月から活動を開始しました。また、高校生以下入館無料の土曜日に、こども向け事業としてクイズラリーを新たに始めました。

加えて、平成21年度末から実施している同じ土曜日の船の折り紙教室の運営と夏休みの行事のお手伝いをしていただくため、教育活動ボランティアを春と秋の2回募集し、活動を始めました。

このような新たな取り組みの実施により入館者サービスを充実させ、こどもからシニア世代まで幅広い入館者の満足感を高め、リピーターと新たな入館者の獲得に努めました。

### 1 常設展示事業

#### (1) 公開日数・観覧者数

項目／年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度
公開日 (日)	303	289	133	308	309
観覧者数 (人)	140,259	133,681	48,042	98,817	80,205

(注1) 20年度はリニューアル工事のため9月29日(月)から休館しました。

(注2) 21年度は4月24日リニューアルオープン。

(注3) 収蔵庫、書庫の燻蒸作業と館内整備のため、22年度は2月1日(火)から4日(金)まで臨時休館しました。

#### (2) 館内案内

入館者に展示物への理解を深めていただくために、ボランティア及び学芸員による展示内容の案内と説明を行ないました。

・学芸員の案内等 66回 3,171人

#### (3) 展示案内ボランティア

博物館の「ファンづくり」「サポーターづくり」の大きな柱として、博物館活動を活発にするお手伝いをしていただくボランティアを導入し、平成21年12月にスタートしました。

平成22年度は夏に募集し、10月から第2期の方々が活動に加わりました。ボランティアの皆さんには、知識や経験を十分に発揮していただき、入館者がより一層横浜みなと博物館を楽しんでいただけるよう、活動していただいています。

①活動内容 常設展示の案内

②平成22年度ボランティア 活動開始 平成22年10月16日(土) /  
登録者数 16人

③総登録者数：32人

(4) 展示品保守と展示内容の更新

日常の職員の点検・保守、年2回の定期メンテナンスのほか、適宜不具合の修理、補修を行い、展示品を良好な状態に保ちました。

また、横浜港をとりまく新しい情報を展示に反映しました。

## 2 特別展示事業

常設展示で扱えなかったテーマや資料収集・調査研究の成果に基づいた企画により展覧会を開催しました。また、市民参加の第2回目の帆船日本丸の写真展などを開催しました。

(1) 企画展

①名 称 歌、映画、小説の中の横浜港  
会 期 平成22年10月9日(土)～11月23日(火)  
展示内容 歌、映画、小説に描かれた横浜港を紹介し、時代とともに変化していった国際貿易港横浜について考える。

入館者数 19,929人

関連行事 横浜みなと映画会

日 時：10月15日(金)、16日(土)

各日19時～20時30分

上映映画：15日「俺は待ってるぜ」、16日「錆びた鎖」

会 場：メモリアルパーク緑地(博物館屋上)

参加者：2日間合計290人

フロアガイド(担当学芸員による展示解説)

日 時：10月24日(日)、31日(日)、11月20日(土)

各日11時、14時

参加者：3日間計48人

(2) 展覧会

①名 称 帆船日本丸と世界の港展  
会 期 平成22年4月24日(土)～6月13日(日)  
展示内容 帆船日本丸の進水80年、公開25周年を記念し、日本丸と世界の港や人々の交流の様子に焦点を当てて紹介。

入館者数 28,246人

- 関連行事 フロアガイド(担当学芸員による展示解説)  
日 時: 4月24日(土)、29日(木・祝)、5月2日(日)、  
3日(月・祝)、5日(水・祝)、6月5日(土)、  
13日(日) 各日11時、14時  
参加者: 7日間 計190人
- ②名 称 帆船日本丸Tシャツデザイン公募展  
会 期 平成22年7月17日(土)～8月1日(日)  
展示内容 帆船日本丸進水80周年を記念してTシャツ用のデザインを公  
募。応募198点の内、一次審査通過95点を展示。  
入館者数 14,889人  
その他 7月19日に表彰式開催
- ③名 称 横浜から海を学ぶ—しんかい6500と深海の生物展  
会 期 平成22年8月7日(土)～8月29日(日)  
展示内容 独立行政法人海洋研究開発機構の協力により、パネルや映像、  
図書などで深海の生物やしんかい6500を紹介。同じみなど  
みらい21地区の三菱みなとみらい技術館とも連携。  
入館者数 4,936人
- ④名 称 第2回「横浜の帆船日本丸」募集写真展  
会 期 平成22年12月18日(土)～平成23年1月30日(日)  
展示内容 市民から募集した日本丸の写真131点を展示  
入館者数 25,470人  
その他 12月18日に表彰式を開催。みなとみらい21 エリアマネジメ  
ント助成を受けて実施しました。
- ⑤名 称 横浜港を結ぶ交通—蒸気船、鉄道、近代港湾・新港ふ頭へ—  
会 期 平成23年2月19日(土)～4月10日(日)  
展示内容 開港期から新港ふ頭ができる大正前期までの期間、交通網の成  
立によって、横浜港が海陸物流の結節点として成立していく過  
程を紹介  
入館者数 8,799人

### 3 講演会

企画展「歌、映画、小説の中の横浜港」にあわせて記念講演会を開催しました。

演 題: 「映画と横浜港」

日 時: 11月3日(水・祝) 14時～16時

講 師: 佐藤忠男(映画評論家)

参加者：60人

#### 4 教育普及事業

港や船、海について関心と認識を深めるため、年間を通して小・中学生及び大人を対象とした各種教育普及活動を1年間通じて行いました。

また、高校生以下入館無料の土曜日に、こども向けの事業として船の折り紙教室とクイズラリーを実施しました。

##### (1) 教育活動ボランティア

教育普及活動の準備と実施のお手伝いいただくボランティアを導入しました。春と秋の2回募集し、それぞれ5月と12月からスタートしました。ふだんは、主に毎週土曜日の「楽しい船の折り紙教室」を指導いただき、そのほか夏休みの工作教室もお手伝いいただきました。

- ① 活動内容 教育普及活動の準備と実施
- ② 活動開始 第1期：平成22年5月／第2期：平成22年12月
- ③ 登録者数 第1期：5人／第2期：10人 合計15人

##### (2) 教育普及事業実績

行事名	実施月日	参加者数	会場他
楽しい船の折り紙教室	4～3月毎週 土曜日	2,499	常設展示室／47回
キッズのためのクイズラリー	4～3月毎週 土曜日	4,798	ライブラリー、常設 展示室／52回
キッズのためのクイズラリー2010 こどもの日スペシャル!	5月5日	451	博物館
大人のための帆船日本丸ペーパー クラフト教室	5月15日	32	訓練センター
こどものための帆船日本丸ペーパー クラフト教室	5月23日	43	訓練センター／ 午前と午後2回
ポルトウオッチング ー港と船の観察会ー	7月28日	14	大さん橋国際客船ターミナル
親子の海図教室	7月31日	87	訓練センター／ 午前と午後 2回
モーターで動く船をつくる工作教室	8月6日	56	訓練センター／ 午前と午後 2回
ソーラーで動く船をつくる工作教室	8月7日	41	訓練センター／ 午前と午後 2回
ポンポン船をつくる工作教室	8月8日	46	訓練センター／午前と午後 2回

おはよう！操船シミュレーター教室	8月10～ 12日	23	博物館
ポートウォッチング観察会 展示会	8月10～ 22日	7, 347	博物館ロビー
深海ペーパークラフト教室	8月10～ 13、17～ 20、24～ 27日	904	特別展示室 ※深海の生物展会場内
博士に学べ！みなと博物館& 港内一周クルーズ	8月18日	25	ふかりさん橋と共催事業
親子でつくろう！ ゴム動力船工作教室	8月22日	160	訓練センター
コンテナターミナル見学会	8月26日	27	南本牧ふ頭
なるほど！ミナト散歩～ 開港の道コース～	10月24日	18	博物館～汽船道～赤レンガパ ーク～大さん橋
わくわくおどろき！ 親子でピンホール写真教室	1月15日、 16日	85	訓練センター、日本丸メモリ アルパーク/「横浜の帆船日本 丸」募集写真展関連行事/作品 を2月5日～13日まで博物 館ロビーで展示
帆船日本丸をフィルムカメラで撮影 してみよう	1月16日	9	訓練センター、日本丸メモリ アルパーク/「横浜の帆船日本 丸」募集写真展関連行事/作品 を1月22日～30日まで写 真展会場内で展示
春休み楽しい船の見学会	3月26日	25	新港ふ頭/練習船大成丸

## 5 ライブラリー事業

港湾、海運、船舶、造船、港運、航海などの海事関係図書、雑誌を収集、整理、公開しました。

- (1) 収集図書      図書購入：82冊、寄贈：174冊  
蔵書数：22,782冊（平成23年3月末現在）  
受入雑誌タイトル数：188タイトル
- (2) 利用者数      13,743人（内、ライブラリー有料利用者142人）

## 6 調査・研究・収集・出版活動事業等

- (1) 収 集
  - ① 京浜間の旅客船の錦絵、客船メニュー、戦前の京浜工業地帯の企業ポスターなどの海事関連資料を収集。  
購入：57点、寄贈：808点、採集：141点 計1,006点
  - ② 収集した資料の一部は常設展示室内新着資料コーナーで展示し、寄贈者には案内を送付しました。
- (2) 整理保存
  - ① 収集した2,500点余の資料を整理し、収蔵庫に保存しました。
  - ② 収蔵庫・書庫の燻蒸を行いました。
- (3) 調査研究
  - ① 企画展等展覧会実施にともなう資料調査を実施しました。
  - ② 入港する外国客船及び海上保安庁観閲式の写真撮影を実施しました。
- (4) 出版
  - ① 企画展「歌、映画、小説の中の横浜港」図録（A4判80ページ）
- (5) 資料の館外貸出・特別利用      43件

### Ⅲ 緑地事業及び研修施設事業等

日本丸メモリアルパークの入口に大きなサインボックスを設置し、パーク内への導線をわかりやすくするとともに、土日を中心とした様々なイベントを実施したことにより、日本丸メモリアルパークに90万人のお客様が来園しました。

また、港湾緑地である日本丸メモリアルパーク内を公共施設としてふさわしい安全管理と環境を維持し、有効活用を図るため、次の事業を行いました。

#### 1 緑地の維持管理・活用

##### (1) 安全管理・美化

緑地等での安全管理、景観、保全、美化清掃を実施して、施設の環境の維持保全を図り、来園者が快適に過ごせる空間を提供しました。

##### (2) 撮影

休館日であっても、日本丸メモリアルパークでの撮影などの利用を可能とするなど利用促進を図りました。

##### 撮影実績

	動 画	静 止 画	計
平成22年度	30	17	47

##### (3) 催事

緑地等における各種催事の企画やイベント誘致で利用促進と賑わいを創出しました。

※詳細については16～17ページに記載してあります。

#### 2 研修施設(訓練センター)の管理運営

訓練センターは机、椅子等の改修工事も完了し、利用者が快適に利用できるようになりリピーター客も増えて来ています。

更に、一般利用の促進を図るため、ホームページ等を利用した広報宣伝を積極的に行い、利用効率を高めました。

	第一教室	第二教室	第三教室	小会議室	合 計
平成22年度件数	305	145	304	211	965

#### 3 シーカヤック体験教室事業

みなとみらい21地区の水際線に位置し港湾緑地である日本丸メモリアルパークの内水域(シーカヤックパーク)を中心に、NPO法人横浜シーフレンズの協力を得て、シーカヤック体験教室を開催しました。

これは市民参加型の海洋レクレーション・海洋スポーツの普及を目的として行ったもので、インナーハーバーの賑わいを創出することができました。

体験教室では、社会人を対象に、シーカヤックの歴史・海のルール・港のルール・操作技術などを学んだ後、新港地区の内水域でのミニツアーリングを実施しました。

また、こども体験教室を夏休みに実施し、大変好評でした。

さらに、横浜市立大学、横浜国立大学からの依頼を受け、9月に大学生の合同体験講義（4日間）を実施しました。

#### 『体験教室』開催実績

##### 開催日

6月	13日（1回）	参加人員	6人
7月	11日（1回）	参加人員	7人
8月	8、15日（2回）	参加人員	79人
*両日ともに夏休み子供体験教室を開催			
9月	12、14、15、16、17、19日（6回）	参加人員	85人
*14～17日は横浜国大・横浜市大の大学生体験教室を開催			
11月	21、28日（2回）	参加人員	15人
合計	12回	参加人員	192人

## IV 集客・プロモーション事業

平成22年度は横浜市内小学校への利用促進にむけた営業活動を中心に、神奈川県や東京都内の小・中学校への訪問営業、近隣ホテルへの積極的な情報提供活動などを展開しました。さらに、帆船日本丸進水80周年・公開25周年関連事業や、従来から実施しているクリスマスの夜間公開、帆船日本丸進水祭などを実施し、賑わいづくりに努めました。こうした事業については、これまで以上に近隣施設や関係団体との連携を強化して実施しました。

### 1 旅行会社への営業活動

- (1) 学校が来場の際に利用している貸切バス会社ならびに同観光営業部（所）へ利用促進のためのDMを行いました。
- (2) JTBのナイスステイカーボン利用施設として継続登録を行い、横浜周辺に宿泊する観光客に施設告知を行いました。
- (3) JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、トップツアー、国際旅行社、富士急トラベルなど本社商品造成部門及び全国の支店へ、学校団体を中心に継続して利用いただけるよう、約230ヶ所へDMを送付し、一部支店には営業も行いました。
- (4) 横浜観光コンベンションビューロー主催の横浜修学旅行説明会（北海道1回）、経済観光局主催の中国ランドオペレーター商談会（2回）に参加するなど、各地で施設PRを行いました。
- (5) はとバスの平成22年度日帰りコース催行により、約4,000名が来場しました。

### 2 小・中学校への営業・PR活動

#### (1) 市内小学校・中学校

- ① 市内小学校全校に向け、施設情報提供、教職員向け見学会のご案内、ふれあいコンサート時の利用案内などについてDMを発送いたしました。（4月・5月・9月）  
また、リピーター率向上のために、11月～2月にかけて平成22年度・平成21年度に来館実績のある学校を中心に約300校への訪問営業を実施いたしました。
- ② 市内の中学校に対して、遠足の誘致を目的にDMの送付を実施いたしました。（8月・9月）
- ③ 小学校教職員向けに横浜ランドマークタワー、京浜フェリーボートと提携し見学会を7回行い、89人に参加いただきました。（5月・6月・7月・11月）また、横浜市小学校社会科研究会にご協力をいただき、研究会でのPR活動に加え、社会科研究会ホームページに横浜みなと博物館ワークシートを掲載いただきました。（11月）

#### (2) 県下、都内小学校・中学校

- ① 横浜を除く県下および都内大田区・品川区・世田谷・港区の全小・中学校約

700校にダイレクトメールにより施設情報を発信しました。(5月・7月・8月・9月・3月)

②神奈川県厚木市・綾瀬市・秦野市・座間市・海老名市・大和市・相模原市・藤沢市・茅ヶ崎市・平塚市・横須賀市・三浦市・鎌倉市・逗子市・川崎市・葉山町、東京都町田市の小・中学校の内、学年在籍数が100名以上の学校を中心に約260校への訪問営業を行いました。(6月・7月・9月・10月・11月)

### 3 近隣住民、近隣施設等への営業・PR活動

- (1) 市内公共施設への情報提供等を定期的に行いました。
- (2) みなとみらいイベント連絡協議会と連動イベントに参加。また地区内フリーペーパー等へ施設PRを掲載、地区内住民及び観光客へ情報提供を行いました。
- (3) 近隣ホテル及び都内ホテルへの営業活動を行い、近隣ホテル3館とのバウチャー契約を締結しました。
- (4) パシフィコ横浜開催の大学・専門学校卒業式・入学式時の施設利用促進のため営業活動を実施しました。
- (5) 下期から月1回の広報会議を開始しました。

### 4 地域・他施設との連携・協力事業

- (1) 帆船日本丸と日本郵船氷川丸 二隻そろって80周年(平成22年3月2日～11月26日)  
氷川丸と日本郵船歴史博物館と連携して、共通チケットの販売やスタンプラリーなどを開催。好評だったため、6月までの予定を11月まで延長。期間中の共通券販売数は大人1705枚、子ども・シニア992枚でした。
- (2) 夏休みに近隣博物館16館共同で小・中学生向けに、「ミュージアム・クイズラリーヨコハマ 2010」(7月17日～8月31日)を実施しました。当館での参加者数は154人
- (3) 博物館1階展示室を(社)関東海事広報協会主催「第47回関東地区中学生海の絵画コンクール」(7月)及び、独立行政法人水産総合研究センター主催「調査船の模型と魚類はく製展」(8月)に貸出しました。
- (4) 海も山も欲張りスタンプラリー(10月23日(土)～11月23日(火))  
同じ西区にある野毛山動物園と初めて共同でスタンプラリーを実施しました。参加者数1,596人。

- (5) 西区・中区・神奈川区区民デー開催（2月26日（土）・27日（日））  
来場者248人。横浜みなと博物館でガイドツアーと横浜海洋少年団の協力で  
ロープワーク教室を実施。また、11月実施の西区民祭に協力しました。
- (6) わくわく乗り物スタンプラリー（3月2日（火）～4月10日（日））  
同じみなとみらい地区にある三菱みなとみらい技術館と共同で初めてスタンプ  
ラリーを実施しました。東日本大震災後、同館休館のため単独開催となりました。  
参加者数1,887人。
- (7) みなと春 MARCH キャンペーン（3月10日～31日）  
横浜市港湾局賑わい振興課が企画したみなと春 MARCH キャンペーンに参加しま  
した。

## 5 イベント、自主事業

日本丸メモリアルパーク内を活用し、横浜市など関係機関、近隣施設等と連携  
して176回のイベントを開催、賑わいづくりと利用者のサービス向上に努めました。

### (1) 帆船日本丸進水80周年公開25周年記念イベント

#### ①帆船日本丸進水80周年公開25周年記念式典（4月29日）

招待客127名。協力：横浜市立戸部小学校、横浜市消防音楽隊。パーク入場者  
数は13,452人。なお、平成22年1月27日～12月28日まで80歳以上の  
お客様を入場無料としました。

#### ②帆船日本丸80周年フェスティバル（5月1日～5日）

ステージと出展によるイベントを開催。期間中のパーク入場者数33,000人。

#### ③帆船日本丸80周年記念Tシャツデザイン募集

帆船日本丸のTシャツデザインを公募。応募198点、内9点が受賞。7月19日  
に横浜税関音楽隊の協力で表彰式を実施。（展示については「横浜みなと博物館  
特別展示事業」を参照）

### (2) 定例イベント

#### ①吹奏楽演奏会

横浜吹奏楽連盟と神奈川県職場・一般吹奏楽連盟の協力で吹奏楽演奏会を  
14回開催。参加団体数51、演奏者数2,380人。開催日のパーク入場者数  
は135,573人。みなとみらい21エリアマネジメント助成を受けて実施。

#### ②フリーマーケット事業

リサイクル運動市民の会と共催で、フリーマーケットをメモリアルパーク内で年  
間13回開催。参加者数は101,000人。

#### ③日本丸ウェディング事業

横浜プロモーションフォーラム認定事業「横濱ウェディング」の撮影プランを1

回開催しました。

④ロックヤード・エクストラ

日本丸メモリアルパークアリーナでロックコンサートを9回開催しました。参加者数27,000人。開催日のパーク入場者数は43,276人でした。

⑤サマーイベント（8月14日、15日）、夏休みの時間延長

ライブステージやテレビ番組の公開収録、APEC関係のイベント等を開催。両日のパーク入場者数は6,152人でした。また、7月17日～8月31日の夏休み期間中は17時30分まで時間を延長しました。

⑥港と船のスタンプラリー（7月17日（土）～8月31日（火））

夏休み期間中に、帆船日本丸と横浜みなと博物館のスタンプラリーを実施しました。参加者数2,775人。

⑦クリスマスナイト日本丸（12月23日（木）～25日（土））

日本丸夜間特別公開（21時まで）を実施。日本丸後部デッキでジャズステージを開催しました。3日間の乗船者数1991人。

⑧お正月特別開館絵葉書プレゼント（1月1日（土）～3日（月））

3が日の日本丸乗船者各日先着500名に絵葉書をプレゼントしました。3日間の乗船者数1,641人。

⑨帆船日本丸進水記念祭（1月27日（木）、29日（土）・30日（日））

1月27日の進水記念日は入場無料ならびに先着1,000名様に日本丸の焼印入りお餅や苗木のプレゼントを行いました。乗船者数は2,094人。

1月29日は高校生以下無料、大人入館料100円、また30日は入館料一律100円としました。29日はステージイベントを開催。協力：西区街の名人達人、横浜市レクリエーション協会。30日にはクイズラリーを実施。2日間の乗船者数3,627人。クイズラリー参加者は1,040人。3日間のパーク入場者数は33,525人でした。

## 6 当施設の資源活用・交流事業

### (1) 横浜市内中学校生徒職業体験学習の受入

11月19日・25日に横浜市立蒔田中学校6人、1月12日・13日に同中山中学校4人、2月16日に同いずみ野中学校から1人参加。蒔田中学校は博物館関係の職業インタビュー及び職業体験、中山中学校は共同事業体全部署での仕事を体験し、いずみ野中学校は船員志望のため、船の作業体験をしました。

### (2) 総合学習等の受入れ

①総合学習の一環として、横浜市立戸部小学校日本丸クラブの児童19人（2回）を受け入れ、博物館バックヤードの見学等を実施しました。

②神奈川大学、日本女子大学から博物館実習生2人を受入れました

(3) 横浜港海の水質改善シンポジウム (2月12日(土))

社団法人海洋緑化協会主催のシンポジウムに後援しました。

(4) 海と山と丘の公園交流事業

国営アルプスあづみの公園、神奈川県立相模原公園と海と山と丘の公園交流協議会を立ち上げました。2月18日に発起人の1人である白井貴子氏を交えて記者会見を開催したほか、3月6日には日本丸メモリアルパークで「『アルプスあづみの公園』から雪がやってくる! In 日本丸メモリアルパーク」を開催しました。